

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	成人看護学実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	伊藤 庸子 他	実務経験と その関連資格	総合病院循環器系内科病棟に看護師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>周術期、または急激な健康破綻をきたした患者の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。また、患者およびその家族に対して、心身の安定を図り、順調な回復過程をたどるための看護援助について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論 医学書院 ⑤国民衛生の動向 厚生労働統計協会 ②系統看護学講座 成人看護学5 消化器 医学書院 ⑥看護技術がみえる2 臨床看護技術 メディックメディア その他各テキスト ③系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院 ④系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習前の事前課題、追加学習、看護過程に取り組む</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
1 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	・病棟の構造と機能、週間予定、日課などの情報を収集することができる。 ・病棟、病室を見学し患者を取り巻く環境について考えまとめることができる。	病院資料	追加学習、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・病院・病棟オリエンテーション ・受け持ち患者とのコミュニケーション ・看護師に同行しての援助の見学、情報収集 ・カンファレンス				
2 5 3 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	・行動計画に基づき、援助を見学または実施することができる。 ・ゴードンの機能的健康パターン11項目に基づき、必要な情報を意図的に収集し、整理することができる。	各テキスト	追加学習、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・行動計画発表 ・看護師に同行しての援助の見学 ・日常生活援助の見学や実施、コミュニケーションを通して意図的に情報収集・情報整理(情報の整理と解釈・分析) ・カンファレンス				
4 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	・行動計画に基づき、援助を見学または実施することができる。	各テキスト	追加学習、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・行動計画発表 ・対象に必要な日常生活の援助の根拠を考え、看護師とともに実施する ・アセスメント、関連図、看護問題、看護計画提出 ・カンファレンス				
5 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	・行動計画に基づき、援助を見学または実施することができる。 ・立案した看護計画についてそれぞれ発表し内容を検討することができる。	各テキスト	追加学習、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・行動計画発表 ・看護計画の立案 ・中間カンファレンス				
6 ~ 11 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	・実施した援助を具体的に振り返り、改善点や工夫する点の根拠を明らかにすることができる。・立案した看護計画に沿って実施した看護介入、実施結果等をSOAPで記録することが出来る。	各テキスト	追加学習、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・行動計画発表 ・立案した計画の実施・評価・修正 ・カンファレンス				

